

日時 2026 年 3 月 8 日(日)オンライン開催

「令和につながるアディクション支援クロニクル」

— 変わる依存症、変わらない支援の軸 —

依存症やアディクションをめぐる社会状況や医療・支援は、令和現在まで大きく変化してきました。一方で、どんな時代でもソーシャルワーカーが大切にしてきた「支援の軸」は変わりません。本研修では、令和の依存症医療とソーシャルワークの現在地を整理し、現場実践から見えてくる支援の工夫や葛藤を共有します。

後半は語り合いの場を設け、参加者同士で考えを深めます。

研修の後には関東甲信越支部例会を開催し、一緒に今年度の活動を振り返りながら来年度にどんな活動をしたいか意見交換や交流を行いたいと思います。研修・支部例会ともにどなたも参加可能です。是非ご参加ください。

13:10～14:10

▶ 講話「令和につながるアディクション支援クロニクル」

山本由紀（国際医療福祉大学/遠藤嗜癖問題相談室）

14:10～15:10

▶ 実践報告

「令和の依存症医療とソーシャルワーク」-私が大切にしていること-
村越満（井之頭病院）

※実践報告に続き、同じ精神科病院に時代を違えて勤務した二人
による対談・質疑応答

15:20～15:30 休憩

15:30～16:15

▶ 私の実践語り亭（進行）石久保 亮（ハナクリニック）

テーマを囲んで、感じたこと・悩み・工夫を自由に語り合う時間

※ここは顔出しをお願いします

16:20～17:20

▶ 関東甲信越支部例会

【対象】関東甲信越支部会員・協会会員・その他

・アルコール・依存症支援に関心のある援助職

・テーマに関心のある専門職

【参加費】無料

【申込方法】

3月4日までに以下
グーグルフォーム
にお申し込みください

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc1XaTMrYUOcO3XC6G3WGcFZnsPptkJnEK-2lOmVI3ZmQ/viewform>



【主催】

アルコール関連問題
ソーシャルワーカー
協会関東甲信越支部

お問合せ:

japanasw@gmail.com
（高橋）